

整理番号	16-10	事務事業名	道央地区環境衛生組合 負担金事業		作成部署	市民環境部環境課	電話	内線826
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	滝本 明	課長職名	奥野 章	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S39	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	浄化槽から排出されるし尿等の処理を広域(1市3町)で行う。							

## 1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	高い都市機能を持ち、活力にあふれるまち	(第5章)
	節	下水道とし尿処理	(第6節)
	施策	し尿処理の充実	(第4施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	浄化槽等から排出されるし尿等	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	浄化槽等から排出されるし尿等の処理を広域で適正に行う。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	1市3町の浄化槽等からのし尿等を処理している道央地区環境衛生組合に対し負担金を出している。
		17年度	同上

## 2 実施(ドウ)

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	61,637	59,295	58,550	58,550
	合計	61,637	59,295	58,550	58,550
人件費(概算)	人数(年間)	0.01	0.01	0.01	0.01
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	90	90	90	90
総事業費 +		61,727	59,385	58,640	58,640

## 【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	市内の収集件数(全体)	1,348件	1,365件	1,365件	1,365件
	個人	745件	743件	743件	743件
	法人(事業所)	603件	622件	622件	622件
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	北広島市のし尿等の全排出量	7,057.74kl	7,323.26kl	7,323.26kl	7,323.26kl
	個人	1,858.64kl	1,852.04kl	1,852.04kl	1,852.04kl
	法人(事業所)	5,199.10kl	5,471.22kl	5,471.22kl	5,471.22kl
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	1kl当たりの負担金額	8,747円	8,110円	8,007円	8,007円

**3 評価(チェック)と改善(アクション)**

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	し尿等の処理施設が老朽化しており、施設自体の更新が必要となってきている。当市だけでなく下水道区域対象外の地区については、今後もし尿等の収集処理が必要である。このことから施設の更新・民間委託化等も含めて構成自治体の協議が必要である。
---------------------------------	---

**【妥当性の評価と改善の方法等】**

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありますか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	浄化槽からのし尿等の処理は市の責務であり妥当である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	浄化槽からのし尿等の処理は市の責務であり妥当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	各市町のし尿等を効率性の面からも広域で処理してきており、妥当である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	従来からの運搬費用に加え、H17年6月1日から処理費用についても負担を求めた。	

**【有効性と効率性の評価と改善の方法】**

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	下水道が入らない地域のし尿等の適正処理が図られている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	処理施設については、計画的修繕を実施してきているが、全体的に老朽化しており、修繕に係る経費の増加が見込まれる。	施設の更新の検討とともに、管理運営体制の見直しについても検討する。

**【事務事業担当部局内優先度】**

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A          B          C

**4 総合判定と今後の方向性**

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	施設の更新、管理運営体制については、構成自治体との協議が必要である。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	組合に対して、組合業務の見直しや事務の効率化、負担軽減などを図るよう構成自治体として要望していくとともに、し尿処理のあり方について抜本的見直しを提起すること。